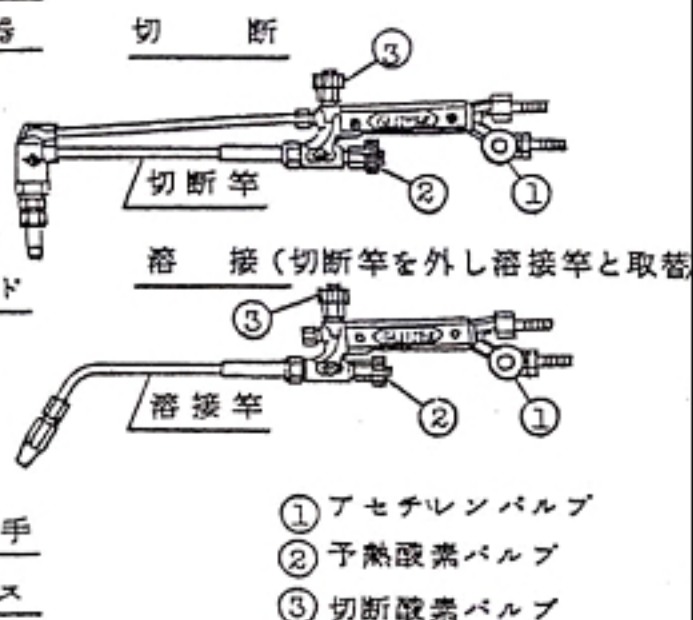
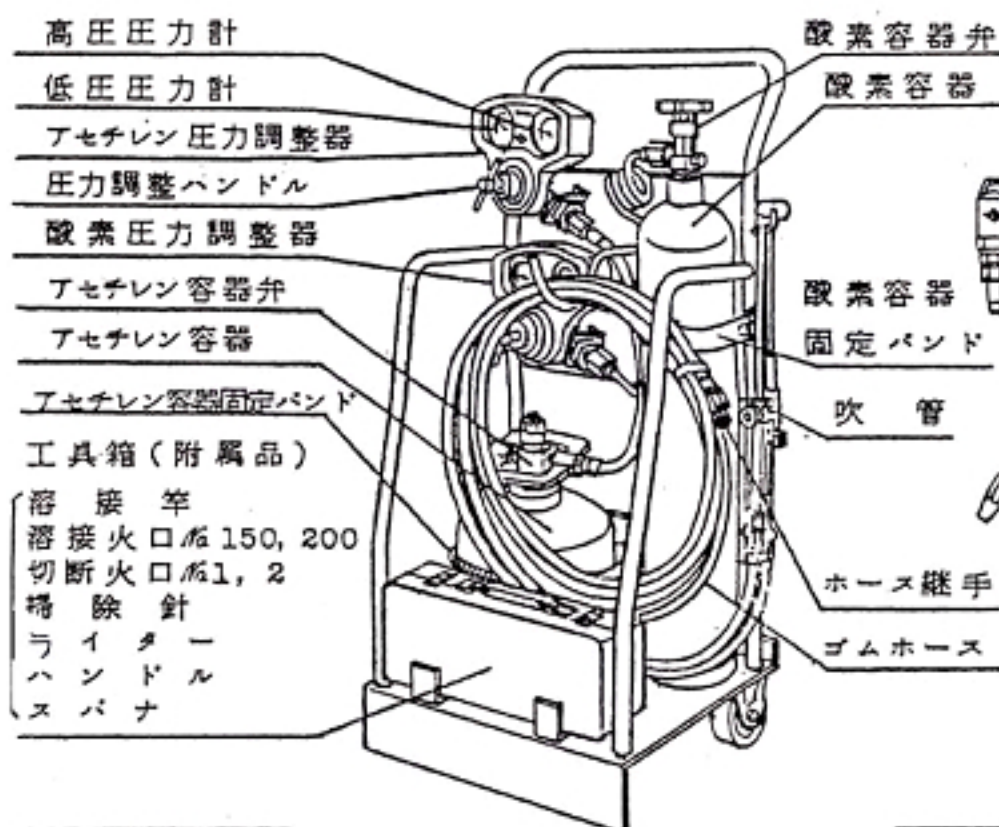




溶接吹管使用の場合は切断酸素バルブ③を使用しないで下さい。

作業準備 (酸素、アセチレン共)

	ゴムホースのホース継手を圧力調整器の出口に接続。
	圧力調整ハンドルがゆるんでいるかを確認。ゆるめずに容器弁を開くと2次圧力計等が破損することがあり危険です。
	アセチレン及び酸素容器弁を開く。 /次圧力計が上がり容器内圧力を指示します。
	圧力調整ハンドルをゆつくり矢印方向に回せば2次圧力計が上がります 酸素 2~3 kgf/cm ² アセチレン 0.2~0.3 kgf/cm ²

火炎調整

- 1 アセチレンバルブを少し開き、ライターにて点火。
- 2 予熱酸素バルブとアセチレンバルブを徐々に開き、標準火炎に調整。
- 3 切断の場合、切断酸素バルブを開きますと、切断酸素が噴出し切断が出来ます。

消火

- 1 予熱酸素バルブを閉じる。
- 2 アセチレンバルブを閉じる。

作業終了 (酸素、アセチレン共)

- 1 容器弁を閉じる。
- 2 吹管の予熱酸素バルブを開き、圧力を零にしバルブを閉じる。続いてアセチレン側も同様に零にする。
- 3 圧力調整器の圧力調整ハンドルをゆるめる。
- 4 ゴムホースを整理し、吹管と共に掛ける。

注意
事項

- 落下衝撃は絶対にさけて下さい。
- 直射日光はさけ、40℃以下に保つて下さい。
- 火気は絶対に近づけない様にして下さい。
- 各接続部は、石けん水等で定期点検をするようお願いします。

- 作業現場を離れる時は、必ず容器弁を閉じる習慣をつけて下さい。
- 別添容器譲渡証明書に依つて所有者登録申請をして下さい。
- ガスの充填はお買上げの販売店にお申し付け下さい。